

※東大和市ホームページに教育長日記「青い空に浮かぶ白い雲」を掲載しています。ぜひご覧ください。

教育長日記（平成29年4月20日）

青い空に浮かぶ 白い雲 118

—新年度のスタート☆教育長の教育経営方針—

東大和市教育委員会 教育長 真如昌美

平成29年度 教育長の学校教育経営方針

教育委員会と学校 一丸

教育委員会と学校が
協働・一丸となって
教育課題を達成

生きる力の 育成

自立した人間の育成
知育・徳育・体育
一人一人の学力向上

誇りある 地域の学校づくり

社会に開かれ
地域と共にある
学校づくり

平成29年3月に新しい学習指導要領の告示がありました。本年度からは内容周知の時期に入ります。その後、小学校は、平成32年度（2020年度）の東京オリンピック・パラリンピックの年、中学校は、その翌年の平成33年度（2021年度）から、新しい教育の全面実施となっていきます。

学習指導要領の前文には、『これからの時代に求められる教育を実現していくためには、よりよい教育を通してよりよい社会を創るという理念を学校と社会とが共有し、それぞれの学校において、必要な学習内容をどのように学び、どのように資質能力を身に付けられるようにするのかを教育課程において明確にしながら、社会との連携及び協働によりその実現を図っていくという、社会に開かれた教育課程の実現が重要となる。』と示されているとおり、「地域と共にある学校づくり」の必要性が強調されています。

東大和市に目を移すと、東大和市の保護者、地域の方々の教育に対する関心や期待が年々高まっています。そして、学校教育の充実と活性化のために、学力向上に関すること等、様々な学校支援の取組みが展開されてきています。

各学校の校長には、具体的で分かりやすい学校経営方針を、学校職員はもとより保護者や地域にも示し説明する中で、「身の丈に応じた小中一貫教育」など東大和市が誇りとする特色ある教育を進めていくことを期待しています。

あわせて、社会に開かれていく中においては、保護者や地域との連携や協力の場面も多くなります。学校組織のあり方や職層に応じた責任ある対応、一般社会のルールや常識についてもしっかりと身に付けていくことが求められます。

I 生きる力の育成 一次代を担う児童・生徒に知・徳・体をバランスよく育てること―

社会でたくましく生き抜いていくために必要な「生きる力」を保護者・地域と共に育成することを目指し、創意・工夫を活かした特色ある教育活動を展開する。その中で、一人一人の児童生徒に基礎的・基本的な知識を確実に習得させ、思考力、判断力、表現力、その他の能力を育む。また、自尊感情や自己肯定感を引き出し、東大和市の学校で学ぶことに「誇り」をもたせる。

教師は育成のプロであることを自覚し、その責任を果たす。

- ◇ 知 育 : 小学校期の基礎的・基本的な知識及び技能を確実に習得させます。
中学校期では、小学校で習得した力を活用し、課題を解決するために必要な思考力、判断力、表現力、その他の能力をさらに磨きます。
- ◇ 徳 育 : 家庭、学校、地域とともに、自他の生命を尊重し、規律ある生活を送ることができ、国際社会に生きる日本人としての自覚を身につけさせていきます。
- ◇ 体育・健康 : 家庭や地域社会との連携を図りながら、食育の推進や体力の向上に関する指導の充実を図っていきます。

II 教育委員会と学校とが一丸 ―教育委員会と学校とが一丸となって教育改革を進めること―

教育目標を達成していくために、教育委員会と学校とが互いに理解しあい、協働しながら一丸となって教育課題の解決に取り組む。

- ◇ 校長は、学校経営方針を具体的かつ積極的に職員、保護者・地域に周知し、校長が目指す学校づくりを共有する中で、職員、保護者・地域が互いに信頼し合いまとまりある組織として学校を機能させていきます。職層ごとの責任を明確にし、学校組織の機能を高めます。
- ◇ 教育委員会は、校長の目指す学校づくりをしっかりと受け止め、互いに知恵を出し合い共有しながら、教育委員会と校長会とが協働・一丸となって東大和市の教育の充実・発展にむけ取り組みます。
- ◇ 市長が繰り返し提唱する笑顔のある明るい挨拶と、爽やかなおもてなしのできる学校づくりを広げていきます。
- ◇ 新しい学習指導要領の告示を受け、その内容について分析し、小学校は平成 32 年度から、中学校は平成 33 年度からの全面実施に向けた研修計画を立案します。
- ◇ 校内、他校、近隣市区、近県との交流を通じて、教員の指導技術を高め磨きあう機会を用意します。

III 誇りある地域の学校づくり ―「学校は地域の財産である」ことを認識して教育を進めること―

すでに学校と地域は、さまざまな機会において連携・協力した活動を進めている。子どもたちが「次代を担う大切な地域の財産」であることを認識し、学校と地域とが連携・協力して子どもたちを育成していくことが大切である。学校は「地域の教育に対する住民の熱い思い」により開校に至ったものである。その思いや願いに応えながら、「輝きのある学校づくり」「誇りある学校づくり」、そして「社会に開かれた学校づくり」を進めていく。

- ◇ 東大和市民には、児童生徒に確かな学力を身に付けさせることへの強い願いがあります。その学力は、次代を担う児童生徒が、今後、社会に出て自らの道を切り拓いていく上で必要となる基本的な学力、そして「生きる力」です。教育委員会と学校はその願いに応えなければなりません。
学校教育の成果を生み出すためには、日常の生活習慣や社会的自立など、家庭や地域の教育力も求められます。日頃から学校と保護者・地域とが一体となって「地域の誇りある学校づくり」を進めていきます。
- ◇ これまで以上に保護者・地域の教育力の活用を進めていきます。